

種名	頭数
コモンツパイ	9
ワオキツネザル	6
スローロリス	2
オオガラゴ	5
ワタボウシタマリン	12
シルバーマーモセット	1
ヨザル	8
リスザル	2
ノドジロオマキザル	1
フサオマキザル	3
チュウベイクモザル	1
ミドリザル	3
パタスザル	2
ニホンザル	317
ヤクニホンザル	23
Mff × Mfy	2
Mff × Mm	5
アカゲザル	167
タイワンザル	15
ブタオザル	5
ベニガオザル	6
ボンネットザル	11
カニクイザル	43
アッサムザル	5
Ep × Ca	2
マントヒヒ	2
ゲラダヒヒ	1
シロテテナガザル	2
アジルテナガザル	1
チンパンジー	9
計	671

昭和57年度における京都大学理学研究科動物学専攻霊長類学学科の学生とその指導教官・研究テーマは次のとおりである。

氏名	学年	指導教官	研究テーマ
川本 芳	D3	野沢 謙	インドネシア産カニクイザルの集団遺伝学的研究
松本 真	D3	江原昭善	霊長類頭骨の形態学的研究
浜田 稜	D3	岩本光雄	マカクザルの胎児期から若年期の成長
今井一郎	D3	河合雅雄	熱帯乾燥地域におけるヒトの比較生態学的研究
星野次郎	D3	河合雅雄	マンドリルの生態学的研究
鹿野一厚	D2	河合雅雄	ヤギの社会生態を基盤としたヤギ遊牧民の生態人類学的研究
宮藤浩子	D2	河合雅雄	マンドリルの社会生態学的研究
ジャン・バルセロ	D2	河合雅雄	熱帯多雨林の樹上性霊長類の生態社会学的研究
名取真人	D1	江原昭善	リスザルの臼歯の個体変異について
三谷雅純	M2	河合雅雄	ニホンザルの音声伝達に関する研究
広谷 彰	M2	河合雅雄	イノシシを主とした狩猟生活の生態人類学的研究
吉久保真一	M1	室伏靖子	霊長類の種の認知に関する実験的研究
大井 徹	M1	川村俊蔵	ニホンザルの摂食行動とスペーシング
丹治雅夫	M1	高橋健治	霊長類の組織プロテアーゼの性状と生理的役割
沢口俊之	M1	久保田競	前頭前野の機能的細胞構築

研 修 員

氏 名	指導教官	研 修 題 目	研 修 期 間
泉山茂之	川村俊蔵	ニホンザルの猿 害防止について の実験的研究	56.5.1 ~58.4.30
瀬戸口 美恵子	"	哺乳類特にタイ ワンリスの社会 生活	56.8.1 ~57.7.31
"	"	小哺乳類の社会 生態学的研究	57.8.1 ~58.7.31
竹中晃子	竹中 修	霊長類血液タン パク質の構造と 機能	56.8.1 ~57.7.31
"	"	霊長類の系統と ヘモグロビンの 構造	57.8.1 ~58.7.31
丸橋珠樹	河合雅雄	ドリルの社会生 態学的研究	57.2.1 ~57.6.30
市原慶和	高橋健治	蛋白分解酵素の 構造・機能及び 生合成に関する 研究	57.4.1 ~58.3.31
Pamela J. Asquith	杉山幸丸	欧米と日本の霊 長類学における 擬人主義の比較 研究	57.5.1 ~58.4.30
Solomon Yirga	江原昭善	霊長類およびヒ ト、特に古人骨 の形態学的研究	57.10.1 ~58.3.31
平尾哲二	高橋健治	霊長類組織プロ テアーゼの性状 と機能に関する 研究	57.11.12 ~58.11.11

日本学術振興会奨励研究員

氏 名	指導教官	研 修 題 目	研 修 期 間
丸橋珠樹	河合雅雄	ドリルヒヒの社 会生態学的研究	57.7.1 ~58.3.31
藤田和生	室伏靖子	ニホンザルの弁 別の形成と維持 に及ぼす各種強	57.7.1 ~58.3.31

化スケジュール
の効果に関する
研究

森山恭子 岩本光雄 ロコモーション 57.7.1
との関連におけ
る霊長類筋骨系
の研究 ~58.3.31

所内談話会演題

5月21日
劉観竜(中国・広西医学院)
Scientific research of acupuncture and
moxa in China

7月1日
東 滋
原猿の島—マダガスカル

11月24日
日沼頼夫(京大・ウィルス研)
成人T細胞白血病ウィルス

12月15日
松林清明・後藤俊二
ヒトとサルの共通伝染病について

1月12日
小山直樹
マダガスカルの自然と原猿